



東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

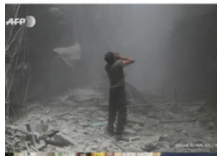


お元気ですか。高原剛一郎です。

今日も、イスラエルの情勢についてのフェイクニュースを斬りたいと思います。私は関東を周って、今のイスラエルの情勢についていくつか講演をして来ましたが、時々質問を受けるんですね。「イスラエルを応援したいけど、でもやっぱり、非人道的と言わざるを得ないことをやらかしているんじゃないですか。」何件かありました。「例えば、どんな？」その方のスマホのアルバムから、いくつか写真を見せていただいたんですが、ビックリしたんです。



◀ビルがミサイル攻撃か空爆で残骸になっていて、そこに自分の家か事務所があったんでしょう。「私の住処がこんなに粉々になってしまった！」と叫んでいる少年の姿があるんですね。「イスラエルはガザでこんな酷いことを！これはあんまりじゃないか！」



こんなん見せられたら、だれでも「これは酷い！」となりますね。



◀これは見渡す限り瓦礫の山。人間住めないですよ、こんなんされてしまったら。



◀そして、瓦礫の下から救い出された子供が運ばれています。

この4枚の写真、ガザではありません。4枚ともシリアの内戦なんです。シリア内戦で、アレッポという町が爆撃された時に報道された写真です。それがSNSでは、「イスラエルはガザでこんなことをやってるんだ！」ということの根拠・情報・証拠としてアップされているんですね。



◀年老いた女性が爆撃の被害を受けて、痛々しい姿ですね。顔に包帯を巻かれて、戦争の悲惨さを浮き彫りにしています。「イスラエルはガザで酷いことをやっている。特に老人・女性・子供たちが圧倒的多数の被害者だ。」どうして分かるんですか。ガザ保健当局がそう言っているからです。

ガザ保健当局の数字は実にデタラメで、このことについては検証したものを出した

と思いますが、数字の中にハマス戦闘員の死者を入れてるんです。女性と子供の比率に関しては、発表された数字に統計上あり得ないことが次々出て来ていてデタラメ。

この写真もシリア戦争の被害者なんですが、SNS ではガザの被害者として紹介されているんですね。左も右も同じ写真が使われています。



左は The Saviour という人の SNS で、仰向けになった子供の上に瓦礫が落ちて来て、こう書いてるんですよ。

「この瓦礫に埋もれている子供が自分の子だと考えてみなさい。想像してごらん。どんな気持ちになりますか。ハートブレイクするでしょ。」ハートが千切れてますね。

「こんな酷いことがガザで行われてるんだ！」だれもが「うわっ！」と思いますよ。これが投稿されたのは、下の方にありますが2024年2月11日。110万人が見た。

右の写真は同じものですが、より鮮明ですね。これは2016年2月3日の投稿です。これもシリア戦争の被害の写真、ガザでのイスラエルの攻撃としている。こういうものが乱れ飛んでいるんですね。

イスラエルは酷いことをやっている。特にイランは「こんなことは許されるべきではない」と言ってますが、シリア戦争、いったい誰がやったんですか。シリアの独裁者アサド大統領が自分の国民に対して攻撃を加え、しかも化学兵器まで使っている。一時は風前の灯火まで追い詰められたにも拘わらず、突然息を吹き返しました。どうしてですか。ロシアとイランがシリア側に付いたからです。

ロシアがシリアに付いたのは、シリアの空軍基地と海軍基地を借り受けるため。イランがシリアに付いたのは、イスラム原理主義のシーア派の親類に当たるアラウイ派、アサドはアラウイ派に所属しているので、シリア戦争で60万人のイスラム教徒が殺されました。そのうちの30万人は民間人ですよ。ガザとは比べ物にならないくらい酷いことを同じイスラム教徒にやって、どうしてこれに対しては口をつぐんでいるんですか。

イスラエルが関わった時だけ、関わった戦争だけ、イスラエルがやっていないことも、ありとあらゆる偽情報を駆使して大きく言うのです。そして、自ら手を汚したことについては全く知らんぷり。これがイランです。これが国際情勢なんですね。

ところで、私のYouTubeにも「これ、どう思ってるんですか。イスラエル酷すぎやしませんか。高原さんは何も感じないんですか」と、よく知らない人たちからのコメントがわんさか来るんですよ。わんさか来たのも、そのまま残してます。ただし、人格攻撃の場合は消します。残しているのも、見るのはもうウンザリなんですね。

イスラエルが悪さをしたということについて、事の真偽を確認することなく、絶対的な事実だと飛びつく。ハマスが発表することは盲目的に信頼するんですね。

これもそうですよ。イスラエルニュースというところが非常に冷静な紹介をしていて、「支援物資めぐり群衆事故、数十人死亡」。この手のニュースが今、バンバン入ってるんですね。



まず一報目は2月29日のロイター伝で、「支援物資を待つガザ市民にイスラエル発砲か。100人以上死亡との情報も」これがバーンと出たんです。そして記事の中で、「ガザ保健当局によると、一度の攻撃による死者数はここ数週間で最大の規模である。」

どういうことかということ、ガザ地区に救援物資を運んでいるトラックがあって、イスラエルが護衛してるんです。

記事によると、ガザのカマルアドアという病院にいた男性が、「犠牲になった人たちは皆、救援物資を待ってました。もうすぐ到着すると思っていたら、来たのはイスラエルの戦車でした。そして、集まっていた人たちを無差別攻撃して、地面には引き裂かれた死体が散乱していました。なんて酷いことでしょう。」

それで、世界中が「イスラエル、なんて酷いことをするんだ！」と言って、アメリカのバイデン大統領も「これは考えないとダメだ。」イギリスも「これ以上のことは許されない。」日本の報道機関も私のコメント欄でも「こんな酷いことあるもんか！」と言うんですけど。

あのね、ガザ保健当局が絡んでいるニュースは、いくらロイターとかニューヨークタイムズとかでも、裏を取らんとダメですよ。

だって、ロイターとかニューヨークタイムズとかって、私が前の動画で言ったように、必ずしも自国の記者を送っているんじゃないくて、現地のガザに住んでいる人を雇っているんです。当然ヘンなフェイクニュースが混じっているんですよ。これは典型です。

そもそも、この記事を見た時、ちょっと待てよと。ちょ、おかしいんちゃうと。そう気が付かないとダメだと思うんですね。

ガザに救援物資を送り込む人道回廊、造ったのはだれですか。イスラエルでしょ。人道回廊を通して支援物資を運ぶトラックを護衛しているのはだれですか。イスラエル軍でしょ。

支援物資の中にはイスラエルも参加してるんです。その中には、イスラエルからの支援物資もたくさんあるんですよ。イスラエルが確保した道を通して、イスラエルが護衛して、支援物資を待っている人のところへ行って、その人たちが集まって来たところに、なんで戦車が無差別に砲撃するんですか。おかしいじゃないですか、殺戮することが目的なら、なんで支援物資を持って行くんですか。

そんなこと、しないんじゃないですか。もっと残酷なことをするんじゃないですか。そんなこと、しないですよ、イスラエルは。



ハマスとアラブ諸国がイスラエルを非難

◀「支援物資を我慢強く待っていたガザの住民たちに、イスラエルの軍隊が無差別攻撃した」みたいなニュースが、2月29日だけじゃなくて断続的に出て来るんですね。



◀その度に、IDFのスポークスマンのダニエルさんが「そうではありません」と、ファクトで証明していくんです。

2月29日の事件の時は、エジプトからの支援物資でした。エジプトでガザ地区の住民のための支援物資を積んだ30台のトラックが、南の検問から入って行きました。これらのトラックはエジプト人の民間輸送業者なので、彼らは丸腰です。それで、襲撃されないためにIDFが護衛していました。

人々の活気がある時に持って行くと、群がって略奪戦になってはいけなないので、深夜2時頃に行ったのです。ところが、上からドローンで見るとよく分かるのですが、数百人集まっている中で、一部の人たちが殴ったり踏みつけたりして、支援物資を略奪しようとしたんです。

イスラエル軍は略奪を止めるために、空に向かって威嚇射撃して鎮めようとしたのですが、この数百人が数千人になってきました。それで、このままでは大暴動になるということで引き返したんです。

暴力で踏みつけたガザ人はハマスの可能性が高いのですが、ガザ人がガザ人を踏みつけて数十人が亡くなったことに尾ひれが付いて、イスラエルが戦車で砲撃して、100人以上が亡くなったという話になっている。

ダニエルさんが言うには、この物資はガザ、特に北部地方のガザ人に支援されたものです。南から北に行く時、イスラエルは護衛に付きました。護衛なしで行ったら、途中でハマスに略奪されて、本当に必要な人が手に入れることができないからです。

この事件が起こったのはガザ南部です。北部じゃないんです。北部に持って行く物を南部の人たちが略奪し始めたということは、これは普通の住民じゃない。

はじめから、略奪を目的に集まった人たちが入っていた。

ところが、「イスラエルは、支援物資を取りに来た人たちをなぶり殺しにしている！」というニュースが何回も出て来るんです。

「イスラエルが軍隊を入れるから、そんなことになるんだ」という声がありますが、そうじゃないんですね。



◀ 赤いトラックに “Guys, please don't cross the border”。

民間のトラック運転手たちは、ほかのドライバーたちにこう言ってます。これは動画です。

声1：みんな、国境を超えるな。パレスチナ人たちは俺たちのトラックを全部破壊した。奴らが犯したダメージが良く見えるだろう。奴らは岩を投げて窓を割った。これが仲間の運転手の血だよ。

声2：奴らが俺たちのトラックに何がしたか見えるか？運転手は重症を負って帰ってきた。見てみるよ！これがガザの奴らの祖業だよ。俺たちが祈ってやった人たちの。もうやめる。奴らには今起きてる以上の罰がふさわしい。

ガザに支援物資を運んだトラックの運転手、殺されました。

トラックもメチャクチャに破壊されて。

支援物資持って行ったら殺される。そう思ったら、持って行きますか。

持って行かなかったら、ガザの人たち困るじゃないですか。

しかし、ガザの人たちが困ることによって、むしろ助かる人たちがいるんじゃないんですか。ガザの地面の下に、モグラみたいに隠れているハマスですよ。

彼らがそのようなことを誘導しているんですね。

支援物資の配布をイスラエルが妨害しているというニュースが出ては、そんなことやってないというイスラエルのコメントが出て。またやった。そんなことしてない。またやった。そんなことしてない。いたちごっこなんですけど、なぜそうなるのか。

はじめにセンセーショナルなニュースを聞くと、それを否定するニュースが後に出ても、あんまり耳に残らないんです。どんなフェイクでも、非常に残酷だとか、非常に非人道的だとか、何かショックを与えるような事件であればあるほど、フェイクを何回も繰り返しているうちに、フェイクの方が記憶に残るんですよ。

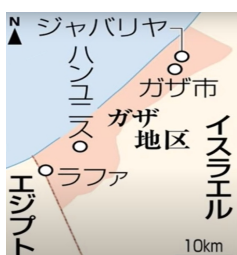
なぜハマスはそのようなことを、嵩にかかってやって来ているのか。

今日は、それを言いたいんですよね。

結論を言うと、いよいよハマスが追い詰められているからなんです。

ガザのほぼほぼすべてのハマスの基地は、イスラエルが制圧しました。

もちろん地面の下に隠れているでしょうが、ほとんどを制圧しました。



◀ でも、最後に一番でかいのが残ってるんです。それがラファ。ラファはエジプトとの国境、ガザ地区の一番南の町です。



◀ここに、ハマスのガザ地区のトップで、10月7日のテロ攻撃の首謀者シワフルの地下要塞があるということなんです。

これは空爆ではなく、地上を歩兵が行って徹底的に搜索し、潰すしかない。ラファを落とすことによって、ハマスは壊滅的なダメージを受ける。なので、何としてもラファへの最終攻撃を阻止しなければならない。そのために必要なのは、イスラエルを徹底的に悪者にし、国際世論の圧力を掛けて、「これ以上、非人道的なことをやるな！」という声を募ることなんです。

ハマスにとっての勝利はイスラエル全滅ではありません。そんなことはできません。“イスラエルがこれだけ一生懸命戦っても、我々は負けなかった”という事実を残すだけで、十分勝利なんです。

“イスラエルがこれほど集中的な力を投入しても、ハマスの幹部は生き残って、組織として活動を続けていた”ということになると、それだけで箔が付くんですね。それだけで、勝利したことになるのです。

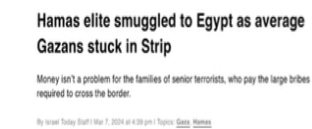
ここでやめてもらいたい。ここでストップしてほしい。

なので、国際世論をかき立てるために、フェイクニュースを次から次に出して来る。そんな事情があるとも知らずに、事実を確認することなく、「イスラエルはこんな酷いことをやった！」と言うのは、結局ハマスに協力することになる。このことを肝に銘じたいと思います。

イスラエルは、今ここでやめたらどうなるんですか。

今までの犠牲は全部無駄になります。そしてハマスに、「自分たちが勝った」という主張をさせることになってしまいます。

イスラエルはハマスの最後の牙城を潰すことによって、組織を徹底的に弱めることができます。実はもうかなり弱ってるんです。時間の問題だと思ってるんですね。



◀英語の月刊誌で、イスラエルの情報を出している『イスラエル・トゥデイ』の最新号の記事です。

「ガザ地区の平均的なガザ人はガザで立ち往生しているが、ハマスのエリートたちはエジプトに密出国している」

小さい字の部分は、「ボーダーを越えるために必要な高額な賄賂は、ハマスのエリートたちには何の問題もない」ガザの人々の平均月収は大体 350 ドルです。

国境を密かに越えてエジプトに逃れるには、7000 ドルの賄賂を渡す必要があるんですね。7000 ドル渡したらエジプトに入れる。

今、ハマス幹部の家族たちが、ラファからエジプトに続々と入って行ったことが分かってるんです。金の力って、いったい何ですか、これ。

なぜラファを手放すんですか。イスラエルは世界の世論が何と言おうと、ラファ地上戦を諦めない。ラファにイスラエル軍が入ったら、やられてしまうことが分かっているのに逃げ出してるんです。

このような状況にあるということをよくよく知りながら、騙されないようにして、中東情勢を見ていく必要があると思いました。
フェイク情報についてはこれからも正していきたいと思っていますので、よろしければチャンネル登録もお願いします。また、ごうちゃんねるでお会いしましょう。
皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！